令和８年度 第１回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和８年９月７日（月）15：00～16：00
場　　所：Zoom を利用した Web 会議
出　　席：5 名
　井岡亜希子（まるレディースクリニック院長）、埴岡健一（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授）、東尚弘（東京大学大学院公衆衛生学分野教授）、山里紘美（沖縄県保健医療介護部健康長寿課主任技師）、伊佐奈々（琉球大学病院がんセンター診療情報管理士）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター長）
欠　　席：3 名
　伊藤ゆり（神戸大学医学系研究科未来社会医学専攻医療健康政策学講座教授）
　平田哲生（琉球大学病院診療情報管理センター長）
陪　　席：2 名
　知念崇（琉球大学病院がんセンター外来化学療法室 副室長）
　西佐和子（琉球大学病院がんセンター事務）

【報告事項】
１．令和７年度 第５回ベンチマーク部会議事要旨について
　増田部会長より、資料１に基づき、令和７年度第５回ベンチマーク部会議事要旨について説明があった。

２．今年度の委員について
　増田部会長より、資料２に基づき、今年度の委員構成について説明があった。委員の変更はなく、引き続き同体制で運営することが報告された。

３．令和７年度沖縄県医療者調査報告書について
　東委員より、資料３に基づき令和７年度沖縄県医療者調査報告書の概要説明があった。回答職種や医療圏別・病院機能別の分析に加え、前年度調査との比較結果について報告があった。
　埴岡副部会長より、本調査は継続により価値が高まっており、今後はロジックモデルとの関係整理や、調査結果を活用した改善策の検討が重要であるとの意見があった。また、他地域への展開や普及についても期待が示された。
　井岡委員より、情報提供に関する設問について職種別分析や患者体験調査との比較を行うことで、新たな課題や改善策の抽出につながるのではないかとの意見があった。特に、がん相談支援センターに関する情報提供と利用状況について検討が必要との意見があった。
　増田部会長より、今後、課題と考えられる項目について整理を行い、医療部会及び連携

協議会へ報告する方針が示された。

４．その他
特になし。

【協議事項】
１．「第４次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）」の中間評価について
増田部会長より、資料 4-1 に基づき、中間評価の進捗状況について説明があった。離島・へき地部会の評価シートを例に、ニーズ評価、セオリー評価、プロセス評価及びインパクト評価の進め方について報告があった。
埴岡副部会長より、初めての取組であることから、全施策について同じ精度で評価することは困難であり、評価可能な内容を着実に実施し、今回の経験を次回の中間評価に活かしていくことが重要との意見があった。また、データ不足により判断できない項目については無理に評価せず、「評価困難」とすることも必要との助言があった。

２．令和８年度市町村調査実施状況について
増田部会長より、資料５に基づき、令和８年度がん対策に関する市町村調査の実施状況について説明があった。県内 41 市町村を対象に調査を実施しており、回答状況及び今後の集計・報告予定について報告があった。

３．がん診療を行う医療施設について
増田部会長より、未公表資料に基づき、がん診療を行う医療施設の選定状況について報告があった。また、今後のワーキンググループ開催予定及び各がん種における意見交換の方向性について説明があった。
埴岡副部会長より、本取組は、質の高いがん医療の提供と患者の適切な医療機関選択の両立を目指す全国的にも先進的な取組であるとの意見があった。

４．その他
埴岡副部会長より、国が実施している「がん検診受診率向上推進事業の取組」について情報提供があり、今後の大腸がん対策等への活用可能性について説明があった。